

# 「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

|   |  |   |            |    |     |
|---|--|---|------------|----|-----|
| 市町村名  | 中津川市   | 学校名   | 中津川市立神坂中学校 |    |     |
| 校長名   | 岩井 裕美  | 対象学年  | 全学年        | 人数 | 31人 |
| 項目<br>該当する項目1つ<br>以上に○を付ける  | ○  | ① 小・中学校の関連性や発展性を踏まえた実践や、幼稚園、高等学校、特別支援学校等と連携を図った実践               |            |    |     |
|   | ○  | ② 県内施設や地域人材等の外部資源を活用し、岐阜県が誇る自然・歴史・文化・産業等の体験を通して学ぶ取組を効果的に位置付けた実践 |            |    |     |
|   | ○  | ③ ふるさと学習を核として、総合的な学習の時間と各教科、特別の教科道徳等との関連を図った教育課程を編成し取り組んだ実践     |            |    |     |
| 学校の教育目標   | 大樹 ゆるぎない基礎 たくましい心身 ゆたかな表現  |   |            |    |     |
| 活動のねらい  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年閉校を迎える本校であるが、ふるさと神坂のよさを再発見し、ふるさと神坂への誇りや愛着心を醸成すると共に、自信をもって新たな学び舎に向かう。</li> <li>・高齢化が進む神坂地区において地域の役に立つ喜びを味わうことで自分たちが地域の担い手であるという自覚を高める。</li> </ul> |   |            |    |     |
| <p>&lt;活動の概要&gt;</p> <p><b>1 神坂地区のまちづくりについて学ぶ【3年生】</b> 外部資源:神坂まちづくり協議会、建設課<br/> 【各教科との関わり】 総合的な学習の時間(3年生)、特別活動(生徒会)</p> <p>昭和33年の分村合併、平成17年の越県合併を経て、平成31年4月、神坂と馬籠が一つの行政区に統合された。その時代に生きた地域の人々のご心労は察するにあまりある。そんな中、スマートICの設置を誘致し、地域住民が一丸となって新たなまちづくりを進めている。そこで地域の未来を担う生徒に地域の大人がどんな思いで動いているかを学ばせる機会を設けた。また、神坂スマートIC開通式に生徒代表挨拶を組み込んでいただくよう依頼し、学びを発信する機会とした。更に、翌月全校で生徒会長挨拶のビデオを見て、学びを深めると共に、地域の担い手としての自覚を高めた。</p> <p>① 神坂まちづくり協議会から会長、副区長が来校し、講話 5/14(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神坂地区の今に至るまでの歴史</li> <li>・スマートIC 開通をチャンスとして、描いている構想の説明</li> <li>・感想交流と共に、これからの神坂に描く夢を交流</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・神坂村という村があったことも知らなかった。今は想像もできないけど、神坂と馬籠で合併するのを賛成すると反対する人が激しくぶつかっていた歴史を知って辛かった。僕は昔から神坂の景色や自然はとてきれいだと思っていたので、講師の人が「ここはいいところだ」とおっしゃってうれしかったし、改めてよさを認識した。今度行われる地域ふれあいマレットゴルフ大会などのボランティアに積極的に参加したいし、神坂や馬籠のよさを伝えていきたい。将来、地域の人と小・中・高校生を集めて湯舟沢スポーツ公園でフリースロー大会を開催してみたい。 &lt;授業の感想より&gt;</p> </div> <p>② 神坂スマートIC開通式での代表挨拶 9/13(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者:生徒会役員、代表挨拶:生徒会長、テープカット:役員</li> </ul> <p>③ 合同国語 10/9(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校国語と称して、生徒会長の挨拶ビデオを視聴し、会長の思いを共有すると共に、自分はどう活動していきたいかという視点で感想を交流し、思いを新たにした。</li> </ul> <p><b>2 地域ボランティア活動【全学年】</b> 外部資源:神坂まちづくり協議会 中津川市神坂事務所<br/> 【各教科との関わり】 特別の教科 道徳(全学年)、社会科(地理)</p> <p>コロナ禍で自粛していた各種地域行事を今年度は復活させていくことになり、中学生がボランティアスタッフとして活躍することで、地域の担い手としての意識を醸成を目指した。また、まちづくり</p> |  |   |            |    |     |

協議会の人々と接することでふるさとの振興に情熱をもって活動している大人の存在を知るなど、ふるさと神坂のよさを再発見し、ふるさと神坂への誇りや愛着心の醸成を考えている。そこで、地域講師を積極的に召喚し、思いを聞く機会を設けている。

① マレットゴルフ大会 8/3(日) 落合マレットゴルフ場

ア ボランティア参加者 全校生徒の32%

イ 活動内容 駐車場案内、受付、準備体操等を担い、第一回神坂・馬籠ふれあいマレットゴルフ大会を成功させる一助となった。

・ボランティアをやって、受付では自分から行動できたのでよかったです。参加した人が喜んでくれてうれしかったし、またボランティアがあったら参加したいと思った。 <感想より>

② 防災キャンプ 11/29(土)、30(日)

ア 神坂事務所長による講話「神坂地区で想定させる被害と神坂の防災」

・お話を聞く前は自分の地域はそんなに災害による被害はないと思っていましたが、話を聞いて、断層がとても近いことが分かりました。これからはいつ災害が起きてもいいように備えたいし、神坂は断絶される可能性があるから、互いに助け合っていく必要があることがわかった。  
・避難所で大人と一緒に手伝いをしたいし、読み聞かせや歌を歌ったり、道具を使わないゲームをしたりして、みんなを安心させたい。 <授業の感想より>

イ ボランティア参加者 全校生徒の70%

ウ 活動内容 薪あつめ 炊事 野菜の収穫 等

③ 馬籠ランタン祭り スカイランタン行列 12/14(日) ボランティア募集スタート

### 3 統合先の中津川市立落合中学校との交流において、神坂小学校伝統の三味線披露【全学年】

神坂小学校では平成15年から、子供たちに何か誇るものを作ってあげたいという地域と校長の願いのもと、三味線指導が始まり、今なお脈々とその歴史はつながっている。「神坂といえば三味線」というのが、児童・生徒や、地域にも誇りとなっており、スマートIC開通式でも演奏を依頼されるほどである。このたび落合中学校との統合に向けての交流において、神坂の文化を見ていただくということで、小学校で活動していた三味線を再度練習し、披露する予定である。生徒は三味線が大好きであり、自慢でもある。誇らしげに演奏するであろうし、落合中学校の生徒にも一目おいてもらえると自負している。ふるさとへの誇りを高めると共に、来年度のいいキックオフにつながると考える。

【教科との関わり】音楽(全学年)

① 11/21(金) 落合中学校 合唱祭参加

#### <生徒の変容>

○生徒アンケート 「神坂に誇るものがあるか それはなにか。」

肯定評価 7月90% → 10月**100%** ↑

<記述>

- ・自然溢れる神坂
- ・島崎藤村先生
- ・歴史的建造物
- ・県内有数の観光地馬籠宿

左記に加えて、地域の団結力、人の熱心さ、人の温かさや優しさなど、人に関わる記述が多くあった。地域の振興のために働く大人に学んだことが効果的であったと考える。

○ボランティア活動への参加者の増加 32% → **70%** ↑

学校としては吸収統合になり、神坂中学校という学校名もなくなってしまうが、居住地を移すわけではないので、これからも神坂に誇りをもち、次の担い手として心豊かでたくましい生徒の育成を行っていく。